

2017年12月

お客様各位

シーティーシー・エスピー株式会社

【Double-Take Availability製品名、ライセンスポリシー、価格変更のお知らせ】

拝啓、平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。この度、Carbonite 社より Double-Take Availability Ver8.1 より製品名、ライセンスポリシーならびに価格変更の通知がございました。詳細につきましては、下記にてご確認ください。

敬 具

－ 記 －

1.製品名の変更

Ver8.1 より Double-Take Availability から Carbonite Availability へ製品名が変更となります。

2.ライセンスポリシーの変更

Ver8.1 より Source のみにライセンスが必要となり、Target にはライセンス不要となります。

3.価格変更

■物理サーバ用ライセンス

製品名：Carbonite Availability Physical、型番：AVAILPHYS、製品定価：108万円

■仮想サーバ用ライセンス

製品名：Carbonite Availability Virtual、型番：AVAILVIRT、製品定価：32万円

※Edition によるライセンス種類の選択が「不要」となり、「物理版」または「仮想版」のどちらかのみになります。

なお、ライセンスポリシーの変更に伴い、以下の FAQ をご用意しております。ご確認ください。

Q1. Ver8.1 より Source のみにライセンスが必要となり、Target にはライセンスが不要になることですが、例①N (Source) 対 1 (Target)、例②1 (Source) 対 N (Target)、例③1 (Source) 対 1 (Target 兼 Source) 対 1 (Target) の場合、何ライセンスが必要になりますか？

A1. いずれの場合も、Source のみにライセンスが必要になりますので、例①は N ライセンス、例②は 1 ライセンス、例③は 2 ライセンスが必要になります。

Q2. Ver8.1 でサポートされない古い OS をレプリケーションするため、Ver8.0 以前の Ver を購入する場合、Target にもライセンスが必要ですか？

A2. はい、必要です。Target にライセンスが不要になるのは Ver8.1 以降であり、Ver8.0 以前の Ver を購入する場合は、従来通り Target にもライセンスが必要となります。

Q3. Ver8.1 より、Ver8.0 で購入をした方が安くなるのですが、Ver8.0 で買って、Ver8.1 へ無償でアップグレードできますか？

A3. 出来ません。レプリケーション対象の OS が Ver8.1 でサポートしている OS にも関わらず、安く購入する目的で Ver8.0 以前の Ver を購入することは出来ません。このような購入方法は、ライセンスポリシーの違反と見なされ、Ver8.0 と Ver8.1 のライセンス費用の差額請求が発生します。

Q4. Ver8.0 以前の Ver から Ver8.1 へは無償でアップグレードが可能ですか？

A4. はい、従来同様、保守に加入している場合に限り、無償でアップグレードが可能です。但し、上記 Q3 の場合は除きます。なお、Ver8.0 以前の Ver から Ver8.1 にアップグレードしても保守費用に変更はありません。

Q5. Ver8.0 以前のライセンスを Ver8.1 へ無償アップグレード後、OS の Edition もアップグレード (ex. Standard から Datacenter Edition) し、ライセンスを使用することは可能ですか？

A5. 仮想サーバ版の場合は可能です。物理サーバ版の場合は、Q3 と同様、ライセンスポリシーの違反と見なされますので、Carbonite Availability のアップグレードライセンスを購入し、Ver8.1 へアップグレードの上、OS の Edition をアップグレードしてください。

Q6. Ver8.1 から Ver8.0 以前の Ver へダウングレード出来ますか？

A6. はい、出来ます。但し、Target ライセンスを追加購入頂く必要があります。

※Q5 を追記 (2018/3/1)

以上

■本件に関するお問い合わせ先
シーティーシー・エスピー 株式会社
ソリューション企画推進部
E-mail : sp-admin@ctc-g.co.jp